

平成24年度 【大学振興会研究奨励補助】研究成果報告書

学部名 生活科学部

フリガナ

氏名 アメリヤ イサミ
雨宮 勇

研究期間 平成24年度

研究課題名 着る人のためのファッションデザイン

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	雨宮 勇	生活科学部	教授
研究分担者	村上 心	生活科学部	教授
研究分担者	岩田 悠加	生活科学部	助手
研究分担者	川尻 姿穂	生活科学部	助手

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

現在、アパレル業界で行われているファッションショーでは、デザイナーが創りたいデザイン、デザイナーの魅せたいデザインを発表するという、一方的なショーであるように思われる。このようなファッションショーは、着られる衣服というより、目で観て楽しむ、感動させるという芸術的要素が強いものであり、人間が普段着用できるものは少なく、生活の為の衣服ではない。そのため、衣服としての生活面での役割を求めたデザインを考える必要があると考えられる。芸術性に特価するデザインの問題を取り除き、着る側が着たいデザインを発信する、着る人のためのファッションショーを新しく構築することを目的とする。

2. 研究方法等 (300字程度で記述)

第一段階として、H24年度椋山女学園大学大学祭にて行われるミスコンテストを舞台とし、ミス椋山候補者をモデルとして、ファッションショーを開催。
テーマは、着る人のためのファッションデザインとし、衣装をコンテスト形式で公募する。通過者5チームにはミスコンテスト候補者5名の衣装として制作してもらいファッションショー形式で発表してもらう。
その結果、デザイナー側及び、モデル側(着る人)へ、着る人のためのファッションデザインによるファッションショーが実現したかアンケートを実施し検証。今後のファッションショーのあり方について研究する。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

コンテスト名を「みんなのファッションショー2012」と称し、モデルとなる H24 年度椋山女学園大学大学祭ミス・コンテスト候補者 5 名に、着せたい服のデザイン画を、7 月中旬から約 1 ヶ月間、facebook や twitter などの SNS、ポスターの送付等で PR し、一般応募した結果、全国より 50 点ほどの作品応募があった。

一次審査にて、モデルに相応しい作品をモデル 1 名につき 1 点選出した。審査委員は、服飾デザイナーニムラ氏を委員長とする、藤田氏(Web デザイナー)、本学教員、村上、岩田、川尻の 5 名で行った。

最終審査は、10 月 20 日(土)H24 年度椋山女学園大学大学祭にて行われるミス・コンテストとコラボレーションをし、ミス・コンテスト候補者 5 名がファッションショー形式で作品を着装し、ステージにて発表を行った。

その後、一次審査と同様の審査委員で最終審査を行い、作品の完成度、モデルに相応しい仕上がりであるか等の基準から、グランプリ 1 点が選ばれた。また、「着る人のため」ということから、実際に着たモデルによる投票を行い、着たい服を選出してもらい、特別賞とした。

最終的に、アンケートを実施した結果、デザイナーの着せた感想は、全員が「イメージ通りだった。」「とても満足」という評価であった。

モデルの着た感想は、「着てみてさらに気に入った。」「努力の詰まった衣装を着ることが出来、大変光栄に思っている。」と満足の意見が得られた。

また、事前にモデルと密に打ち合わせたことで、デザイナーとモデルとで一緒に作り上げられたという感想であり、まさに「みんなのファッションショー」いう一方的ではなく、作り手と着る側とが融合したファッションショーとなった。

4. キーワード (本研究のキーワードを 1 以上 8 以内で記載)

①みんなの	②ファッション	③着る人のため	④着せたい
⑤ファッションショー	⑥	⑦	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

「みんなのファッションショー」公式ホームページ、<http://minna-fashion.com/>、その他、facebook 公式ページ、twitter にて、要項、審査状況、審査結果、風景写真を随時更新。第一回に続き、第二回として「みんなのファッションショー2013」開催に向けて、始動している。